

です	be 動詞とは、am、is、are のことです。	① 彼はカナダに <u>います</u> 。 → ( ) ( ) in Canada.
	be 動詞は「です」や「います」という意味です。	② 彼はカナダに <u>いません</u> 。 → ( ) ( ) in Canada.
	I には am、単数には is、複数や you には are がつきます。	③ 彼はカナダに <u>いますか</u> ? → ( ) ( ) in Canada?
	be 動詞の後に not をつけると否定文になります。	④ (③の疑問文に対して)はい、彼は <u>います</u> 。 → Yes, ( ) ( ) .
	be 動詞を文頭に置くと疑問文になります。	⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼は <u>いません</u> 。 → No, ( ) ( ) .
	返事 → Yes, 主語+be 動詞. / No, 主語+be 動詞+not.	⑥ どこに彼は <u>いますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) ?
します	英語は <u>誰が</u> <u>どうする</u> <u>何を</u> という順番になります。	① 彼らは英語を <u>勉強します</u> 。 → ( ) ( ) English.
	どのように/どこで/いつ などは文の最後に置かれます。	② 彼らは英語を <u>勉強しません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	<u>どうする</u> という意味になる語を一般動詞といいます。	③ 彼らは英語を <u>勉強しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
	一般動詞の前に don't をつけると否定文になります。	④ (③の疑問文に対して)はい、彼らは <u>します</u> 。 → Yes, ( ) ( ) .
	文頭に Do を置くと疑問文になります。	⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼らは <u>しません</u> 。 → No, ( ) ( ) .
	返事 → Yes, 主語+do. / No, 主語+don't.	⑥ どこで彼らは英語を <u>勉強しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
します	自分を1人称、相手を2人称、その他を3人称といいます。	① 彼女は英語を <u>勉強します</u> 。 → ( ) ( ) English.
	主語が3人称で単数の場合、一般動詞に s がつきます。	② 彼女は英語を <u>勉強しません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	have は特別に has という形になります。	③ 彼女は英語を <u>勉強しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
	一般動詞の前に doesn't をつけると否定文になります。	④ (③の疑問文に対して)はい、彼女は <u>します</u> 。 → Yes, ( ) ( ) .
	文頭に Does を置くと疑問文になります。	⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女は <u>しません</u> 。 → No, ( ) ( ) .
	返事 → Yes, 主語+does. / No, 主語+doesn't.	⑥ どこで彼女は英語を <u>勉強しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
しています	be 動詞+一般動詞の ing 形で「~している」という意味です。	① 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	e で終わる一般動詞は、e を省いて ing をつけます。	② 彼女は英語を <u>勉強していません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	run や swim は、最後の文字を重ねて ing をつけます。	③ 彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
	否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。	④ (③の疑問文に対して)はい、彼女は <u>しています</u> 。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女は <u>していません</u> 。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ どこで彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
できます	can+動詞の原形で「~することが出来る」という意味です。	① 彼女は英語を <u>勉強することが出来ます</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。	② 彼女は英語を <u>勉強することが出来ません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	can not は can't と短縮できます。	③ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女は <u>出来ます</u> 。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女は <u>出来ません</u> 。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ どこで彼女は英語を <u>勉強すること出来ますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
しなさい	英語は <u>誰が</u> <u>どうする</u> <u>何を</u> という順番になります。	① あなたは英語を <u>勉強します</u> 。 → ( ) ( ) English.
	<u>誰が</u> がなく、 <u>どうする</u> で始まると命令文になります。	② 英語を <u>勉強しなさい</u> 。 → ( ) English.
	命令文の前に Please をつけると「して下さい」という意味。	③ 英語を <u>勉強して下さい</u> 。 → ( ) ( ) English.
	命令文の前に Let's をつけると「しましょう」という意味。	④ 英語を <u>勉強しましょう</u> 。 → ( ) ( ) English.
	命令文の前に Don't をつけると「してはいけません」という意味。	⑤ 英語を <u>勉強してはいけません</u> 。 → ( ) ( ) English.
	命令文の前に Shall we をつけると「しましょうか?」という意味。	⑥ 英語を <u>勉強しましょうか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
まとめ	be 動詞は「です」や「います」という意味です。	① 彼はカナダに <u>います</u> 。 → ( ) ( ) in Canada.
	英語は <u>誰が</u> <u>どうする</u> <u>何を</u> という順番になります。	② 彼らは英語を <u>勉強します</u> 。 → ( ) ( ) English.
	主語が3人称で単数の場合、一般動詞に s がつきます。	③ 彼女は英語を <u>勉強します</u> 。 → ( ) ( ) English.
	be 動詞+一般動詞の ing 形で「~している」という意味です。	④ 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	can+動詞の原形で「~することが出来る」という意味です。	⑤ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ます</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
	<u>誰が</u> がなく、 <u>どうする</u> で始まると命令文になります。	⑥ 英語を <u>勉強しなさい</u> 。 → ( ) English.

<p>し ま し た</p> <p>一般動詞に ed をつけると「～しました」という意味です。 e で終わる語は、d だけをつけます。 子音字+y で終わる語は、y を i に変えて ed をつけます。 didn't を一般動詞の原形の前につけると否定文になります。 Did を文頭に置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+did. / No, 主語+didn't.</p>	<p>① 彼女は英語を勉強しました。 → ( ) ( ) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強しませんでした。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強しましたか? → ( ) ( ) ( ) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して) はい、彼女はしました。 → Yes, ( ) ( ).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、彼女はしませんでした。 → No, ( ) ( ).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強しましたか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?</p>
<p>で し た</p> <p>am, is を was に、are を were にすると過去形になります。 過去形の場合も、否定文・疑問文・返事は同じパターンです。 was not は wasn't, were not は weren't と短縮できます。</p>	<p>① 彼はカナダにいました。 → ( ) ( ) in Canada.</p> <p>② 彼はカナダにいませんでした。 → ( ) ( ) in Canada.</p> <p>③ 彼はカナダにいましたか? → ( ) ( ) in Canada?</p> <p>④ (③の疑問文に対して) はい、彼はいました。 → Yes, ( ) ( ).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、彼はいませんでした。 → No, ( ) ( ).</p> <p>⑥ どこに彼はいましたか? → ( ) ( ) ( )?</p>
<p>し て い ま し た</p> <p>be 動詞+一般動詞の ing 形で「～している」という意味です。 be 動詞を was, were にすると過去形になります。 過去形の場合も、否定文・疑問文・返事は同じパターンです。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強していました。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強していませんでした。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強していましたか? → ( ) ( ) ( ) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して) はい、彼女はしていました。 → Yes, ( ) ( ).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、彼女はしていませんでした。 → No, ( ) ( ).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強していましたか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?</p>
<p>で き ま し た</p> <p>can 「出来る」の過去形は could です。 過去形の場合も、否定文・疑問文・返事は同じパターンです。 could not は couldn't と短縮できます。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強することが出来ました。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強することが出来ませんでした。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強することが出来ましたか? → ( ) ( ) ( ) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して) はい、彼女は出来ました。 → Yes, ( ) ( ).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、彼女は出来ませんでした。 → No, ( ) ( ).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強すること出来ましたか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?</p>
<p>す る つ も り</p> <p>be 動詞+going to ~ で「～するつもり」という未来の意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 be 動詞を was, were にすると「～するつもりでした」という意味。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強するつもりです。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強するつもりではありません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強するつもりですか? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して) はい、彼女はするつもりです。 → Yes, ( ) ( ).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、彼女はするつもりではありません。 → No, ( ) ( ).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強するつもりですか? → ( ) ( ) ( ) ( ) to study English?</p>
<p>す る で し よ う</p> <p>will+動詞の原形で「～するでしょう」という未来の意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 will not は won't と短縮できます。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強するでしょう。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強しないでしょう。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強するでしょうか? → ( ) ( ) ( ) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して) はい、彼女はするでしょう。 → Yes, ( ) ( ).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して) いいえ、彼女はしないでしょう。 → No, ( ) ( ).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強するでしょうか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?</p>
<p>ま と め</p> <p>一般動詞に ed をつけると「～しました」という意味です。 am, is を was に、are を were にすると過去形になります。 be 動詞の過去形+動詞の ing 形で「～していた」という意味です。 can 「出来る」の過去形は could です。 be 動詞+going to ~ で「～するつもり」という未来の意味です。 will+動詞の原形で「～するでしょう」という未来の意味です。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強しました。 → ( ) ( ) English.</p> <p>② 彼はカナダにいました。 → ( ) ( ) in Canada.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強していました。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>④ 彼女は英語を勉強することが出来ました。 → ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>⑤ 彼女は英語を勉強するつもりです。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.</p> <p>⑥ 彼女は英語を勉強するでしょう。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.</p>

せねばならぬ	have to+動詞の原形 で「～せねばならない」という意味です。 主語が3人称単数の場合、has to+動詞の原形 になります。 否定文・疑問文・返事は、一般動詞のパターンと同じです。 否定文は「～しなくてもよい」という意味になります。	① 彼女は英語を勉強せねばなりません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語を勉強しなくてもよいです。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼女は英語を勉強せねばなりませんか? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はせねばなりません。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はしなくてもよいです。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ どこで彼女は英語を勉強せねばなりませんか? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) to study English?
せねばならぬ	must+動詞の原形も「～せねばならない」という意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 must not は mustn't と短縮できます。 否定文は「～してはいけない」という意味になります。	① 彼女は英語を勉強せねばなりません。 → ( ) ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語を勉強してはいけません。 → ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼女は英語を勉強せねばなりませんか? → ( ) ( ) ( ) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はせねばなりません。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はしてはいけません。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ どこで彼女は英語を勉強せねばなりませんか? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
あります	There is ~ で「～があります」という意味です。 複数のある場合、There are ~ になります。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 be 動詞を was, were にすると「～ありました」という意味。 some は、否定文や疑問文では any に変わります。	① 机の上にいくつか本があります。 → ( ) ( ) ( ) books on the desk.
		② 机の上に全然本がありません。 → ( ) ( ) ( ) books on the desk.
		③ 机の上にいくつか本がありますか? → ( ) ( ) ( ) books on the desk?
		④ (③の疑問文に対して)はい、あります。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、ありません。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ 机の上にいくつか本がありました。 → ( ) ( ) ( ) books on the desk.
されます	be 動詞+過去分詞形 で「～されます」という意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 be 動詞を was, were にすると「～されました」という意味。	① 彼らによって、英語は勉強されます。 → ( ) ( ) ( ) by them.
		② 彼らによって、英語は勉強されません。 → ( ) ( ) ( ) by them.
		③ 彼らによって、英語は勉強されますか? → ( ) ( ) ( ) by them?
		④ (③の疑問文に対して)はい、されます。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、されません。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ 彼らによって、どこで英語は勉強されますか? → ( ) ( ) ( ) ( ) by them?
ずっとする	主語が3人称単数の場合、have は has になります。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 have+動詞の過去分詞形 は、他に「～したことがある」、「～してしまっただ」、「～したところだ」という意味もあります。	① 彼女は英語をずっと勉強しています。 → ( ) ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語をずっと勉強していません。 → ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼女は英語をずっと勉強していますか? → ( ) ( ) ( ) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はずっとしています。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はずっとしていません。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ どこで彼女は英語をずっと勉強していますか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
したことがある	have been to ~ で「～に行ったことがある」という意味です。 go「行く」を使わないので注意しましょう。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 「今までに～したことがない」という場合、not の代わりに never を使います。	① 彼女はカナダに行ったことがあります。 → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.
		② 彼女はカナダに行ったことがありません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.
		③ 彼女はカナダに行ったことがありますか? → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はあります。 → Yes, ( ) ( ) .
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はありません。 → No, ( ) ( ) .
		⑥ 彼女はカナダに今までに行ったことがありません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.
まとめ	have to+動詞の原形 で「～せねばならない」という意味です。 must+動詞の原形も「～せねばならない」という意味です。 There is (are) ~ で「～があります」という意味です。 be 動詞+過去分詞形 で「～されます」という意味です。 have+動詞の過去分詞形 で「ずっと～している」という意味です。 have been to ~ で「～に行ったことがある」という意味です。	① 彼女は英語を勉強せねばなりません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語を勉強せねばなりません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		③ 机の上にいくつか本があります。 → ( ) ( ) ( ) books on the desk.
		④ 彼らによって、英語は勉強されます。 → ( ) ( ) ( ) by them.
		⑤ 彼女は英語をずっと勉強しています。 → ( ) ( ) ( ) English.
		⑥ 彼女はカナダに行ったことがあります。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.